

## Ⅱ－１ 重点研究

### 1 学習指導研究部運営計画

#### I 学習指導研究部の構成

研究主任 学力向上主任 各部会主任

※ 定期的に学習研究部会を開催し、運営について相談、確認を行う。

#### Ⅱ 学習指導研究部の主な活動内容

##### 1 教師の資質向上を目指して

(1) 重点研究会の推進（各研究部会のコーディネート）

(2) 教科運営・管理の推進

①運営面…各教科の係主任は、各学年に教科担当者の選出と協力を依頼し、各学年の教科担当者が各教科指導計画の実施と見直しを進めていく。

（4月当初に記入用紙を配布して確認）

②管理面…各教科等の係主任は、各学年教科指導が円滑に進むよう備品管理を行う。

(3) 教育課程研究協議会関係の参加の確認と課題の取りまとめを行う（9月）

報告書を作成してもらい、職員会内で報告会を行う。（10～11月）

(4) 職員研修係と連携し、緊急の課題に沿った研修を実施する。

(5) 中学校区教育推進委員会（5月、11月）及び市研究主任会（8月）への参加と報告

##### 2 指導と評価の一体化を目指して

(1) 各学年の年間指導計画及び評価規準を学年会で検討し、不断の見直しを図っていく。

(2) 各教科の評価方法を明らかにし、確実に評価を行っていく。

(3) 全職員に「学習の約束」を配布し、確認する。（4月）

(4) CRT、その他の学力状況の資料（全国学力学習状況調査、PDCAサイクル事業、中学校区教育推進委員会）の収集と分析（学力向上委員会と協力して）

※ CRTの結果については、学年毎に分析をしてもらい、経年分析ができるようにまとめる。  
また、学年資料を集め、研究部の責任で金庫に6カ年保管する

##### 3 学習を支える環境の整備（学力向上委員会と連携をとりながら）

(1) 朝読書の充実

毎週月～木曜日の8：25～35の10分間（木曜日は読み聞かせの時もあり）

(2) 野沢チャレンジタイム・チャレンジテストの実施

低学年は毎週金曜日の1時間目に実施。学年会で内容を統一して、基礎基本の定着を図る。

高学年は年に6回（案）野沢チャレンジテストを実施して、既習内容の確実な定着を図る。

(3) 家庭との連携による学習習慣の形成

野沢中学校区の「家庭学習の手引き」を基に学年会で家庭学習を検討する。

（野沢中学校の定期試験に合わせて、振り返りの場を設ける）

(4) 「学習の約束」の徹底を図る。（教室前黒板横に掲示）

(5) 基本的な学習習慣の指導

(6) 教材の共有化（学年室に保管、資料を残し引き継ぎを行う）